



FUKUOKA KAISEI GIRLS'
HIGH SCHOOL
2026.5

5月のご挨拶
副校長 竹下 徹

新緑がまぶしく、風も心地よい季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

少し前のことになりますが、2月25日（水）に、3年生を対象とした静修会が行われました。参加して、心から嬉しくなる行事でした。静修会の目的は、「神様からいただいた3年間の恵みと確かな導きを振り返り、多くの人々の支えに感謝すること。また、大切な仲間との絆を感じ、これからも神様の導きを信じ、新しい生活へ希望を持って歩いていけるよう共に祈ること」です。カトリックの高校で過ごした3年間を振り返る、かけがえのない機会であったと思います。3年生の先生方のお話の後に、少人数での振り返りの時間があり、私が参加したグループでは、生徒たちから次のような言葉が聞かれました。

「今の自分があるのは、多くの人の支えがあったから。これからは自分が支える存在になりたい。」
「辛いことや不都合なことにも、人生の中で必ず意味がある。」
「人のために時間を使い、信頼関係を築いていきたい。」
「小さなことにも喜びを見出し、前向きに生きていきたい。」

3年間で大きく成長した姿に触れ、これ以上ない喜びを感じました。

中でも印象に残ったのは、「この学校に入学してよかったです」と語ってくれた生徒の一言でした。思わず私は「本校を選んでくれてありがとう」と返していました。教師にとって、生徒の「この学校でよかった」という言葉ほど嬉しいものはありません。本校での3年間で、生徒手帳に記された卒業時の理想像「18歳のわたくし」へと確実につながっていることを実感しました。卒業する皆さんが、困難を乗り越える強さを持ち、自分自身がかけがえのない存在であることを自覚し、隣人や社会に貢献できる女性へと成長していくことを心より願っています。

さて、話は変わりますが、私は3月にまた一つ年を重ねました。最近、ふと両親に会いたいと思うことが増えました。父は私が小学校6年生の時に事故で亡くなり、母も10年前に他界しました。今では実家も人の手に渡り、帰省しても迎えてくれる人はいません。武道や絵画など多彩な才能を持っていた父。父の死後、一人で働きながら私を大学まで通わせてくれた母。抱きしめられた記憶や、褒められた記憶は多くありませんが、二人は確かに深い愛情を注いでくれました。私にとって、これ以上ない両親でした。

何も恩返しができないまま別れを迎えたことは、今でも大きな後悔です。しかし同時に、失ったからこそ、その存在の大きさや感謝の気持ちに気づくことができました。今も時折、両親に語りかけることで、いつもそばにいてくれているように感じています。

両親が今の私に望んでいることは何かと考えると、私が「幸せでいること」なのではないかと思います。そのためには特別なことをする必要はなく、自分らしく、信じる道を誠実に歩むこと。それが私の幸せであり、両親が最も喜んでくれる生き方なのだと感じています。皆さんも、自分を見守り支えてくれている人たちの存在に思いを向けながら、「自分はどう生きたいのか」を考え続けてください。そして同時に、周囲の人を気にかけて、支える存在であってほしいと願っています。

人生には、さまざまな出会いと別れがあります。別れがあるからこそ、新たな出会いが生まれます。私自身も昨年度、新しい出会いに恵まれ、人生がより豊かになったと感じています。これからも新しい出会いに感謝しながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。そして、ここ老司の地で皆さんと出会えたことに、心より感謝いたします。



1 学年 平和の旅

4月24日（金）、1年生は「平和の旅」に参加しました。

「平和の旅」とは、2018年に世界文化遺産に登録された、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産を通して外海の出津集落を巡る旅です。旅を通して、信仰と平和の尊さを学び、「愛」について考えることができました。



▲出津教会

生徒の感想（一部抜粋）

ド・ロ神父様が、長崎の貧しい人々のために自分の財産を使い、自分の国に帰らずに一生を捧げたことが特に印象に残りました。私も口先だけで終わるのではなく、自分から進んで行動し、周りの人のために行動できる人になりたいと思いました。



▲旧出津救助院

2 学年 平和の旅

2年生は平和の旅として長崎を訪れ、浦上天主堂、二十六聖人記念館、平和公園を見学しました。浦上天主堂では神父様から当時の様子や平和への思いについてお話を伺い、その後祈りの集いを行い、命の尊さと平和の大切さを深く学びました。



▲平和公園



▲二十六聖人記念館



3学年 ルーツの旅

3学年は海星のルーツを学ぶために熊本へ行きました。コール神父様のお墓では古賀誠子校長先生がお話をしてくださり、コール神父様とシスター方が人のために動き、人を救いたいという強い意志を持って行動されたことを学びました。これまで海星で学んできたことと重なり、改めて愛をもって真理に向かう私たちの使命を考える時間となりました。慈恵病院では、こうのとりのゆりかごを見学し、看護師の方から直接お話をいただきました。看護師さんが「弱い人、困った人、苦しみの中にいる人がいたら助けることはシスター方から教わったことです。これが海星のルーツです。慈恵病院と海星の取り組みは同じなのです。」また実際に赤ちゃんをゆりかごにあずける体験をさせていただきました。扉を開けて赤ちゃんをあずけ、扉を閉めたあと、沈黙とともに時が止まり、教員、生徒とも涙があふれました。ゆりかごの前に立つお母さんたちはみんな自分の命を懸けて赤ちゃんだけでも助けよう、幸せな人生を歩めますようにと願っているのです。赤ちゃんと同じ重さの人形を抱いてゆりかごに来るお母さんの想いを考え、抱いた気持ちと学びをこれから先も忘れずに生きたいと思いました。海星のルーツがここにあります。海星の生徒として導かれたことに感謝しつつ、マリア様の心とシスター方の行動に倣い、愛をもって真理に向かい続ける私たちでありたいと思います。



▲こうのとりのゆりかご



▲祈りのつどい

ブライコース 歓迎遠足

4月24日にブライコース1・2年生で小倉教会と門司港レトロへ歓迎遠足に行ってきました。小倉教会では、本校の理事でもある桜井神父様から「海星だからこそ学べることがある」という有り難いお話をいただきました。門司港レトロでは、天気にも恵まれて海を見ながら皆で昼食をとり、親睦を深めることができました。その後、関門海峡ミュージアムを見学し、関門海峡の歴史や自然について楽しみながら学ぶことが出来ました。



▲小倉教会



◀関門海峡ミュージアム

門司港レトロ▶



復活！合唱部門！ NEW！韓国語部門！

ユネスコアートボランティア部に集合！

お待たせしました。ユネスコアートボランティア部では、「小物作り→海星祭や地域の祭りに出品・販売→収益を寄付」のボランティア部門、「水彩・油彩・立体制作→学校行事ポスター協力やコンクールに出店」の美術部門に加え、今年度は、「プロの音楽家に発声から教わる→カラオケ・学校行事・近隣施設訪問で活躍」の合唱部門が復活しました。

そして、福岡市博多区の大韓民国教育院にアドバイスをいただき、ただいま韓国語部門を設置準備中です。K-POPや韓国ドラマ・映画の言葉がわかるようになります！という方、いっしょに活動しませんか？さらに、福岡での国際ボランティア活動やイベントのお手伝いを通して、世界に友だちができるかも！



祝 令和8年度福岡県高等学校総合体育大会バレーボール選手権大会出場決定！！

頑張ります！
応援をよろしく
お願いします。



TikTok

どちらも福岡海星女子学院高等学校と検索すれば出てきます！

instagram

kaisei_1208



@f._kaisei

福岡海星女子学院高等学校

@kaisei._1208

@kaisei._1208

いいね、フォロー
拡散よろしくお
願い
します！

Schedule of events

5/11	月	体育会 (雨天時は12日に順延)
5/20	木	宗教朝礼 (聖母月)
5/22	金	歯科検診
5/27	水	中間考査
~		
5/29	金	